

東議員（民主県政会）

令和元年9月26日  
教育長答弁実録  
（教育委員会）

（問）定員内不合格の見直しについて

そういう生徒に対しての進路指導、進路保障はどのようにされていたか。

（答）

進路指導につきまして、たとえ選抜（Ⅲ）で不合格というふうになりました  
ても、通信制ですとか、中学校校長として、なるべく進路未決定者を出さな  
いように取り組んでまいりました。それもそうですし、不合格者だけではなく、  
やはり多くの生徒が不登校であるというような現状がございました。不  
登校から試験を受けるとかいうようなエネルギーがなかなかそこに向かない  
という生徒がたくさんおりましたので、県教育委員会といたしましては、と  
にかく不登校生徒の取組を重点的にやりながら、尚且つ、「15の春を泣かせ  
ない」というような形で検討を進めていきたいというふうに思っております。